

第149回
老年学・老年医学
公開講座



がんも命を
延ばすことも
できる
時代がきた



平成30年

2月5日 月

13時15分から16時まで

(開場12時15分)

1 13:30~14:00
『もしもわたしが肺がんになったら』

一高齢者が「がん」と上手に付き合うためのヒントー』

東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科部長 山本 寛

肺がんの治療はこの15年で劇的に進歩し、各患者さんのがん細胞がもつ特徴に合わせて治療法を選んでいく時代になりました。肺がんになっても今の生活をできるだけ長く維持し、「がん」と上手に付き合っていく方法についてお話します。



2 14:00~14:30
『消化管における早期がんに対する内視鏡治療』

慶應義塾大学医学部 腫瘍センター助教 落合 康利

食道・胃・大腸がんは、早い段階で見つけることができれば、内視鏡治療で完治することができます。内視鏡治療のメリットは、治療後に傷が治ってしまえば以前と同じ食生活を行うことができる点です。体の負担の少ない内視鏡治療についてのお話をします。



3 14:45~15:15
『高齢者の血液がん、あきらめるのは
まだ早い、移植という選択肢』

東京都健康長寿医療センター 輸血・細胞療法科部長 小林 寿美子

白血病は若い人の病気と思われがちですが、実は高齢者が最多です。造血幹細胞移植は21世紀に入り60歳台が最多移植数に達しております。臍帯血移植や骨髄バンクを利用した高齢者血液がんの治療法をお話します。



会場

板橋区立文化会館大ホール
東京都板橋区大山東町51-1



東武東上線 大山駅北口・南口 徒歩3分
都営三田線 板橋区役所前駅 A3 出口 徒歩7分

手話通訳あり

当日先着
1,200人
申込不要
入場無料

質疑応答 15:30~16:00

司 会 東京都健康長寿医療センター 副院長 原田 和昌

主催 地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

共催 板橋区



地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

広報普及係 03-3964-1141 (内線1238)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。



五反田/アールエフビル700号室を会場としています

第149回
老年学・老年医学
公開講座

がんにも命を
まっとうできる
時代がきた

あるノーベル賞学者は今後50年でがんを征圧できると予想しています。がん研究の進歩は急速で、この予想が現実味を帯びてきたのはグリベックという分子標的薬とオプジーボという免疫チェックポイント阻害薬の出現によります。また、内視鏡治療の進歩により、消化器系のがんはかなりの大きさでも完全に切除できるようになりました。全国がん登録が始まりそれぞれの治療でどれだけ生きられるか明らかになってきました。抗がん剤の副作用や耐性の問題も言われますが、遺伝子を調べることで有効な抗がん剤を選ぶことさえできるようになってきています。がんと診断されても、高額なあやしい治療に騙されなければ、寿命をまっとうできる時代がそこまで来ています。この講演会にて正しい知識を学んでいってください。

東京都健康長寿医療センター 副院長 原田 和昌



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

広報普及係

03-3964-1141 (内線 1239)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

